

# MAX3668評価キット

## 概要

MAX3668評価キット(EVキット)は、MAX3668の光学的及び電気的評価作業を容易にする実装済みの表面実装デモ基板です。MAX3668評価キットは電気的評価用構成で出荷されていますが、本データシートは光学的動作の説明も提供しています。

## 部品メーカー

SUPPLIER	PHONE	FAX
AVX	803-946-0690	803-626-3123
Coilcraft	847-639-6400	847-639-1469
Murata	814-237-1431	814-238-0490
Zetex	516-543-7100	516-864-7630

**Note:** Please indicate that you are using the MAX3668 when contacting these component suppliers.

## 電気的評価用構成の部品リスト

DESIGNATION	QTY	DESCRIPTION
C1, C17	2	0.01 $\mu$ F, 10% ceramic capacitors (0402)
C2, C6, C20	3	0.01 $\mu$ F, 10% ceramic capacitors (0603)
C3	1	0.1 $\mu$ F, 10%, 25V min ceramic capacitor (0603)
C4, C7, C10, C11	4	1 $\mu$ F ceramic capacitors (0805)
C8	1	100pF, 10% ceramic capacitor (0402)
C16	1	0.1 $\mu$ F, 10%, 25V min ceramic capacitor (0805)
C19	1	10 $\mu$ F, 10%, 16V min tantalum capacitor AVX TAJC106K016
C21	1	5pF, 10% ceramic capacitor (0402)
CR1	1	LED
J1, J2, J5	3	SMA connectors (edge mount)
L3	1	3.3 $\mu$ H inductor Coilcraft 1008CS-332XKBC
P1	1	2-pin header (0.1" center)
P1	1	Shunt
Q1	1	PNP transistor Zetex FMMT591
R1, R2, R3	3	1k $\Omega$ $\pm$ 5% resistors (0603)
R5	1	12.3 $\Omega$ $\pm$ 1% resistor (0402)
R6, R7	2	84.5 $\Omega$ $\pm$ 1% resistors (0603)
R8, R9	2	124 $\Omega$ $\pm$ 1% resistors (0603)
R10, R11	2	20 $\Omega$ $\pm$ 1% resistors (0603)

## 特長

- ◆ 完全実装済み、試験済み
- ◆ 電源: +3.3V ~ +5.0V
- ◆ 入力終端処理を基板上で提供
- ◆ 変調及びバイアス電流の独立した電気的監視

## 型番

PART	TEMP. RANGE	IC PACKAGE
MAX3668EVKIT	-40°C to +85°C	32 TQFP

DESIGNATION	QTY	DESCRIPTION
R12	1	10 $\Omega$ $\pm$ 1% resistor (0402)
R13, R20, R22, R25	4	0 $\Omega$ resistors (0603)
R14, R15, R16	3	50k $\Omega$ variable resistors
R18	1	110 $\Omega$ $\pm$ 5% resistor (0603)
R21	1	10 $\Omega$ $\pm$ 5% resistor (0603)
R23	1	15 $\Omega$ $\pm$ 5% resistor (0805)
R24	1	1.5k $\Omega$ $\pm$ 5% resistor (0603)
VCC, GND, TP1, TP4, TP5, TP6, TP9, TP10	8	Test points
U1	1	MAX3668EHJ (32 TQFP)
U3	1	MAX495CSA (8-pin SO)

## 光学的評価用の部品修正

DESIGNATION	QTY	DESCRIPTION
J5	1	Remove
L2	1	Ferrite bead Murata BLM11HA601SG
R5	1	Remove
R13	1	Remove
R19	1	20 $\Omega$ $\pm$ 5% resistor (0402)
R20	1	5 $\Omega$ $\pm$ 5% resistor (0402)
R22	1	Remove
R23	1	Remove
U2	1	User-supplied laser diode

# MAX3668評価キット

## クイックスタート \_\_\_\_\_

### 電気的評価のセットアップ(デフォルト)

電気的構成には自動電力制御(APC)テスト回路が含まれており、モニタフォトダイオード付の半導体レーザをエミュレートすることができます。モニタダイオード電流はQ1によって供給されます。Q1はオペアンプ(U3)によって制御されます。U3及びQ1からなるAPCテスト回路が、シミュレーションされたモニタダイオード電流( $I_{BIAS}/I_{MD}$ の比は $R24/R23 = 100$ )をMAX3668のMDピンに印加します。電気的構成における適正動作を保証するため、評価基板を下記の手順でセットアップして下さい。

- 1) インダクタL2が取り付けられていないことを確認します。
- 2) P1のシャントを取り外すことによって出力をイネーブルします。  
注記：以下の抵抗をチェックする場合は、内蔵ESD保護ダイオードに順方向バイアスがかけられないように抵抗計を手動で高いレンジに設定して下さい。
- 3) MODポテンショメータR14を、ピン2と3(テストポイント5とグランド)の間の抵抗が10k $\Omega$ になるように調節します。
- 4) BIASポテンショメータR15を、ピン2と3(テストポイント4とグランド)の間の抵抗が10k $\Omega$ になるように調節します。
- 5) APCポテンショメータR16を、ピン2と3(テストポイント6とグランド)の間の抵抗が10k $\Omega$ になるように調節します。

- 6) +3.3V電源で基板に電源を投入します。
- 7) 差動入力信号(最大振幅は各側800mV以下)をJ1とJ2(DATA+とDATA-)に印加します。
- 8) 50 入力の高速オシロスコープをJ5に接続します。
- 9) 希望のレーザバイアス電流が得られるまで $R_{BIAS}$ (R15)及び $R_{APC}$ (R16)を調節します(MAX3668データシートの「アプリケーション」の注を参照)。
- 10) 希望のレーザ変調電流が得られるまで $R_{MOD}$ (R14)を調節します。

### 光学的評価用セットアップ

光学動作の場合は、電気的APCテスト回路をディセーブルする必要があります。MAX3668の光学的評価を行う場合は、本評価キットの構成を「光学的評価用の部品修正」に従って修正して下さい。

- 1) P1のシャントを取り外すことによって出力をイネーブルします。
- 2) TO式ヘッダレーザ及びモニタダイオード(図1)を下記の方法で接続します。
  - レーザダイオードへのリード線をできるだけ短くするように気をつけながら、レーザダイオードを部品面側のR20とC17( $V_{CC}$ )の間に接続します。この時カソードはR20に、アノードは $V_{CC}$ に接続します。
  - モニタダイオードを基板の裏側に接続します。この時アノードはMAX3668のMDピン(レーザダイオードのカソードの下)に、カソードは $V_{CC}$ (レーザダイオードのアノードの下)に接続します。

## 調節及び制御の説明(先にクイックスタートを参照して下さい) \_\_\_\_\_

COMPONENT	NAME	FUNCTION
P1	OUTPUT DISABLE	Enable/Disable the Output Currents. Shunting disables the part. Remove shunt for normal operation.
J5	Electrical Output SMA	Electrical Output. Remove for optical operation.
R14	MOD	Laser Modulation Current Adjustment
R15	BIAS	Laser Bias Current Adjustment. In open-loop mode, R15 adjusts the laser-bias current. In closed-loop operation, R15 adjusts the maximum laser-bias current.
R16	APC	Automatic Power Control Adjustment. For closed-loop operation, R16 adjusts the monitor-diode current level.
TP1	Fail Indicator	TTL Low Level. Indicates a failure in the APC loop.
CR1	Fail Indicator	Refer to the <i>Design</i> section of the MAX3668 data sheet. Set APC current; then increase bias current until LED goes off (LED is illuminated when the APC loop is open and off when the APC loop is closed).

注記：以下の抵抗をチェックする場合は、内蔵ESD保護ダイオードに順方向バイアスが掛からないように手動で抵抗計を高いレンジに設定して下さい。

- 4) MODポテンショメータR14を、ピン2と3(テストポイント5とグランド)の間の抵抗が最大になるように調節します。
- 5) BIASポテンショメータR15を、ピン2と3(テストポイント4とグランド)の間の抵抗が最大になるように調節します。
- 6) APCポテンショメータR16を、希望の光パワーが得られるように調節します。(MAX3668データシートの「設計手順」を参照)。
- 7) +3.3V電源で基板に電源を投入します。
- 8) 差動入力信号(最大振幅は各側800mV以下)をJ1とJ2(DATA+とDATA-)に印加します。
- 9) レーザダイオード出力を光/電気コンバータに接続します。
- 10) LED(CR1)が点灯しなくなるまでR15を調節します。レーザパワーはレーザダイオードで光/電気コンバータを使うことによって監視できます(MAX3668データシートの「アプリケーション情報」の注を参照して下さい)。

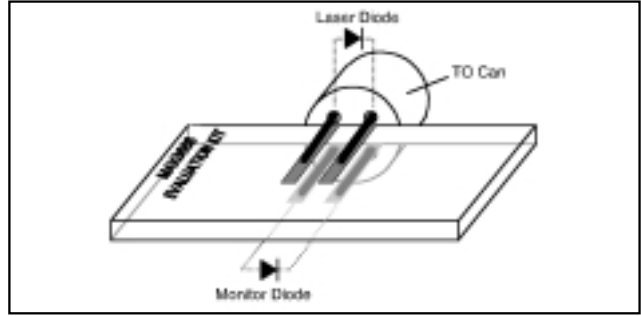


図1. MAX3668EVキットへのレーザダイオード/モニタダイオードの装着

- 11) 希望の光振幅が得られるまでR14を調節します。光振幅は光/電気コンバータにオシロスコープを接続することによって観察できます。

# MAX3668評価キット

Evaluates: MAX3668

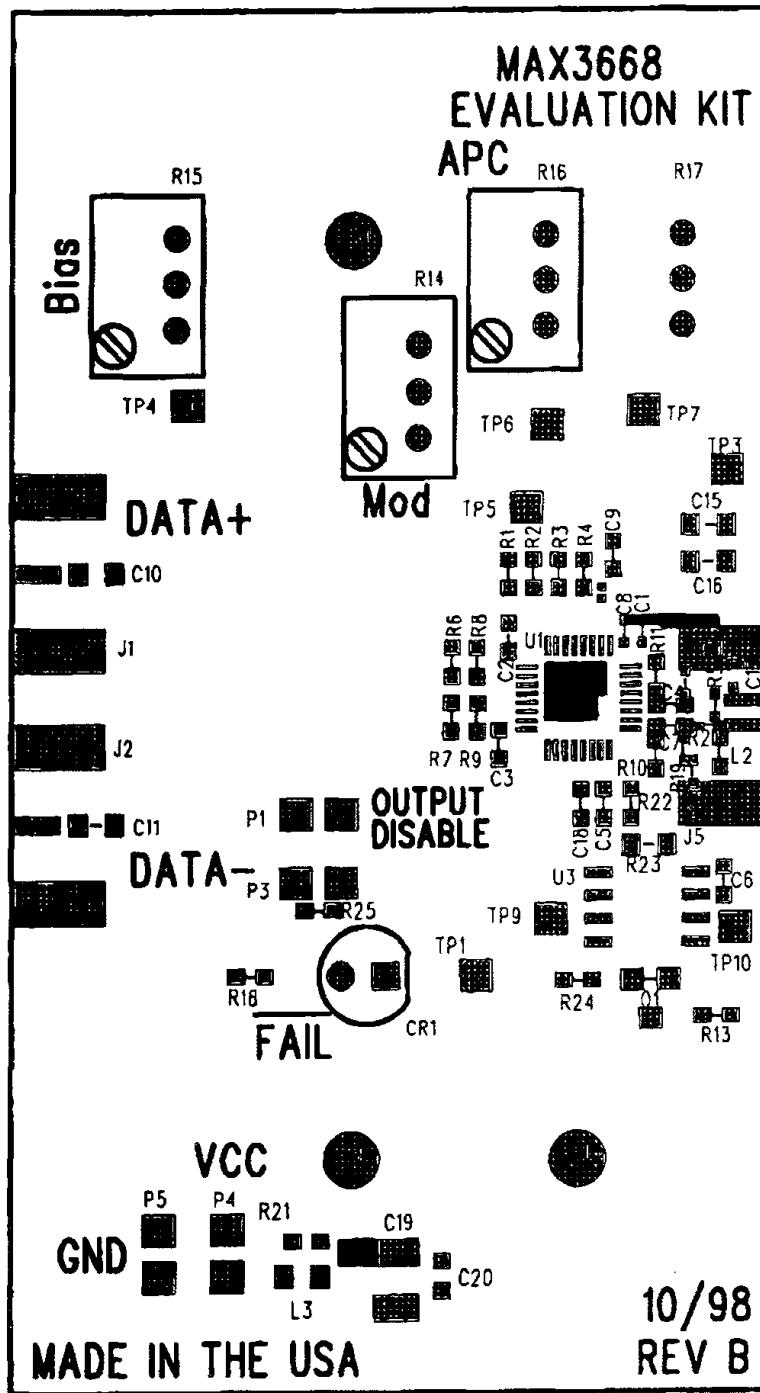


図2. 部品配置拡大図

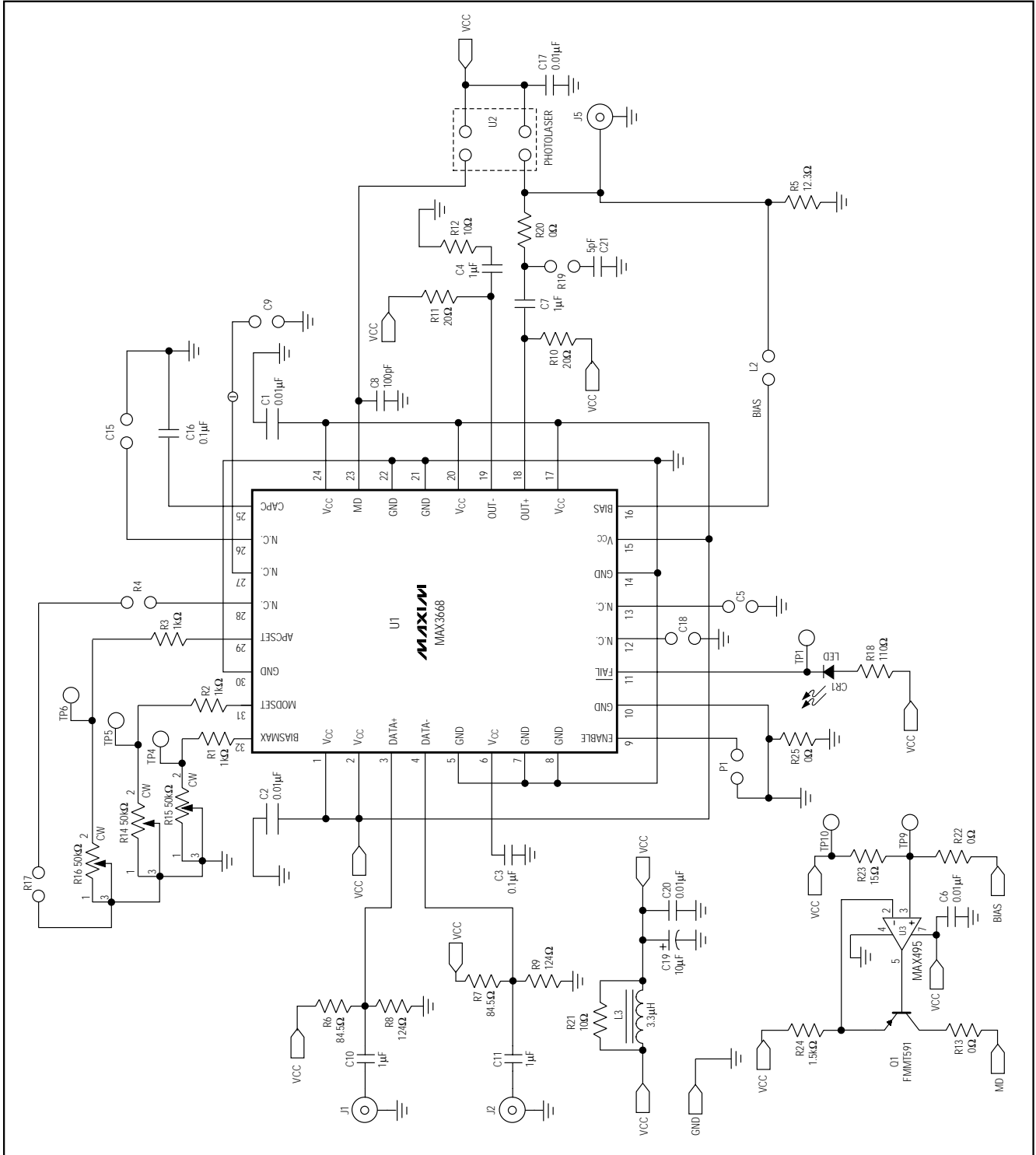


図3. MAX3668EVキットの回路図(電気的評価用構成)

# MAX3668評価キット

Evaluates: MAX3668

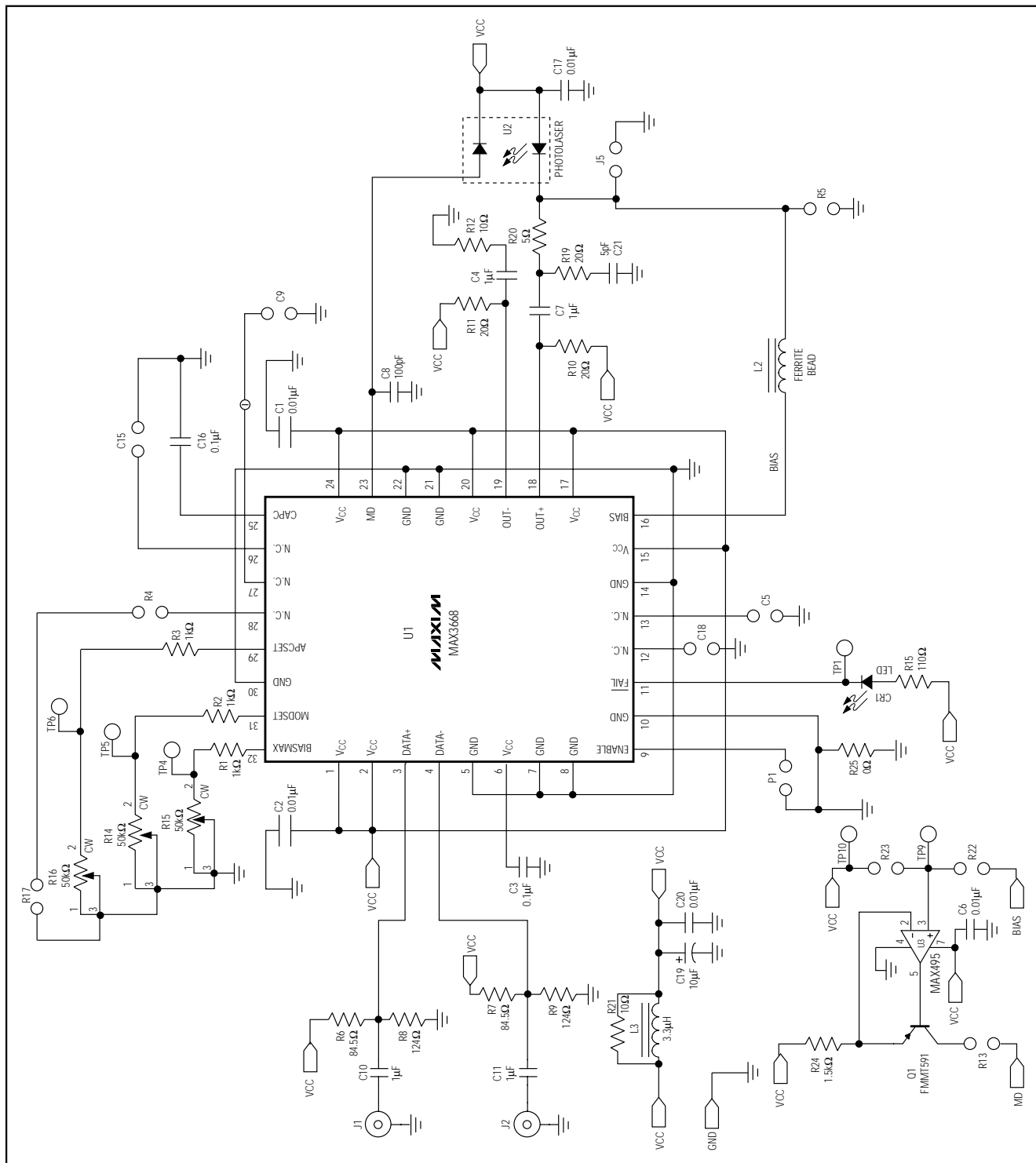


図4. MAX3668EVキットの回路図(光学的評価用構成)

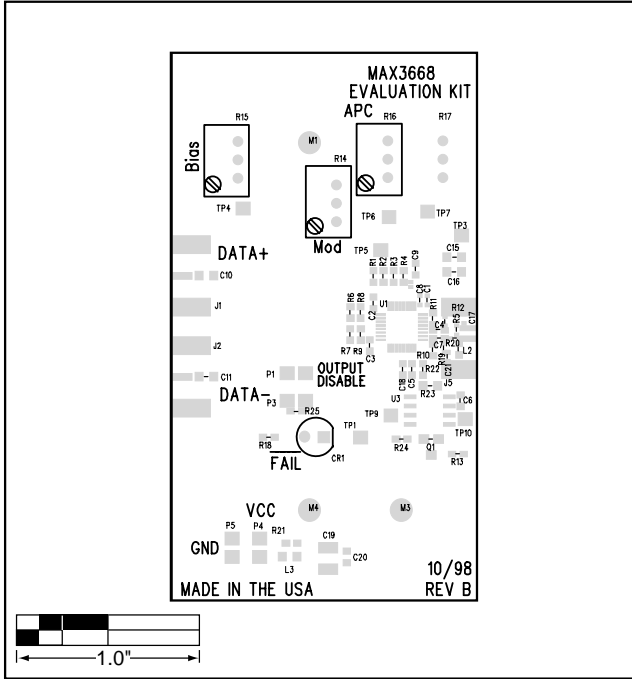


図5. MAX3668EVキットの部品配置図(部品面側)

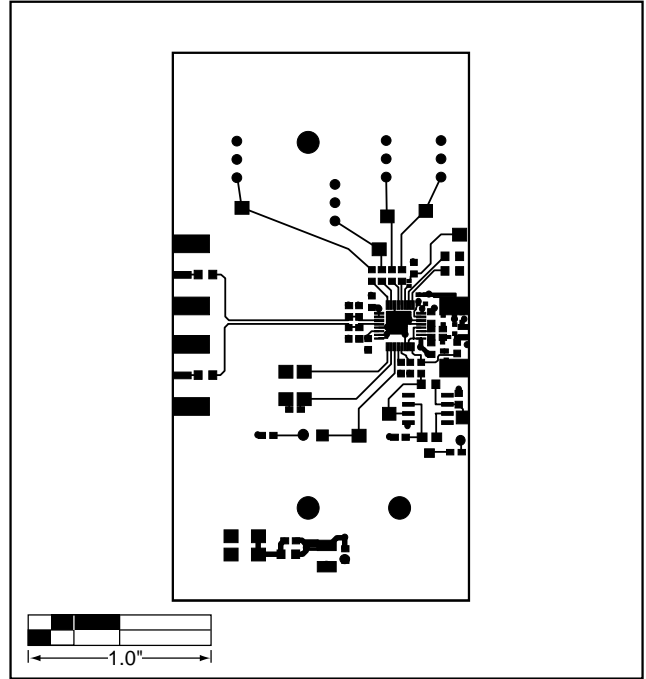


図6. MAX3668EVキットのプリント基板レイアウト(部品面側)

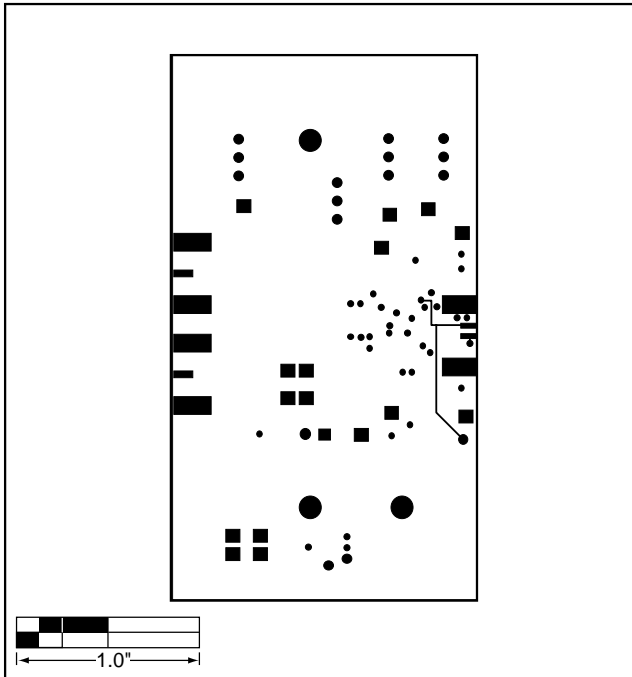


図7. MAX3668EVキットのプリント基板レイアウト(ハンダ面側)

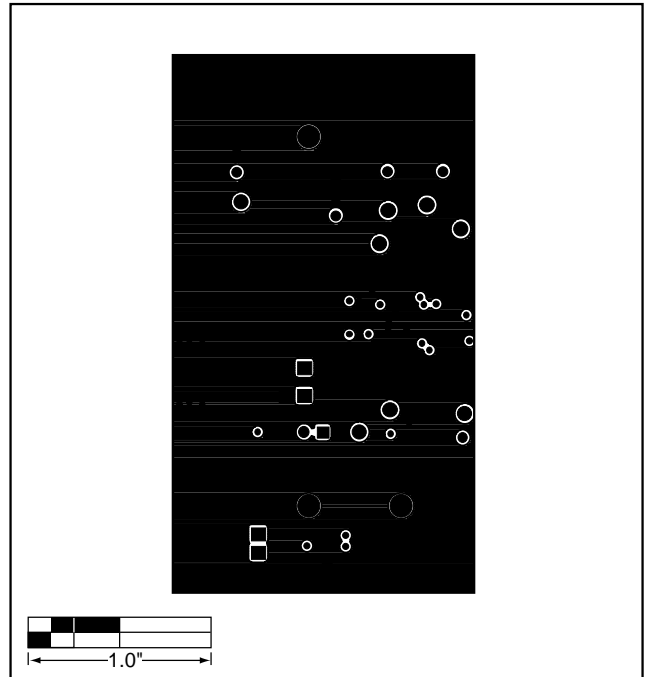


図8. MAX3668EVキットのプリント基板レイアウト(グランドプレーン)

# MAX3668評価キット

Evaluates: MAX3668

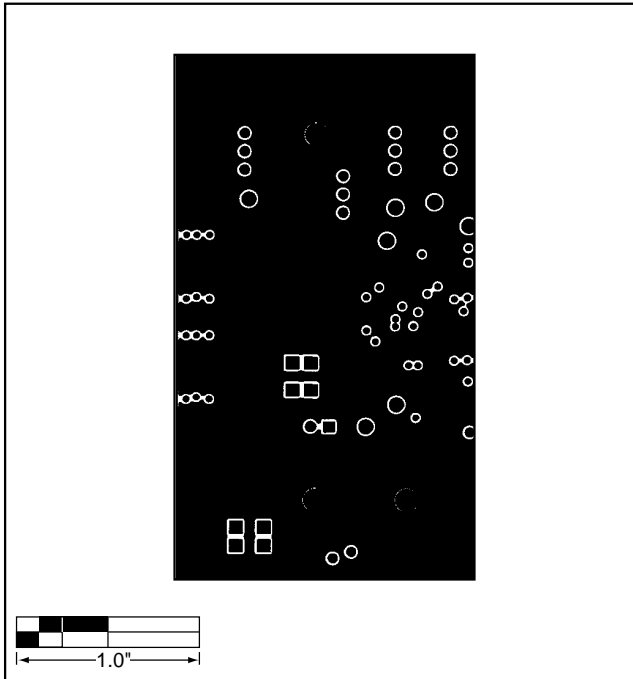


図9. MAX3668EVキットのプリント基板レイアウト  
(電源プレーン)

販売代理店

## マキシム・ジャパン株式会社

〒169-0051東京都新宿区西早稲田3-30-16(ホリゾン1ビル)  
TEL. (03)3232-6141 FAX. (03)3232-6149

マキシム社では全体がマキシム社製品で実現されている回路以外の回路の使用については責任を持ちません。回路特許ライセンスは明言されていません。マキシム社は随時予告なしに回路及び仕様を変更する権利を保留します。

8 \_\_\_\_\_ Maxim Integrated Products, 120 San Gabriel Drive, Sunnyvale, CA 94086 408-737-7600

© 1999 Maxim Integrated Products

**MAXIM** is a registered trademark of Maxim Integrated Products.